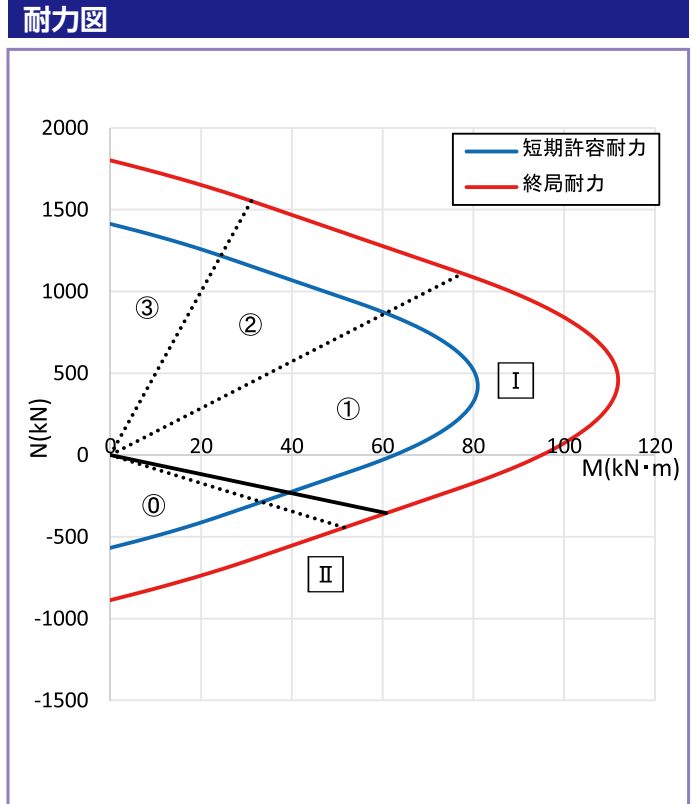
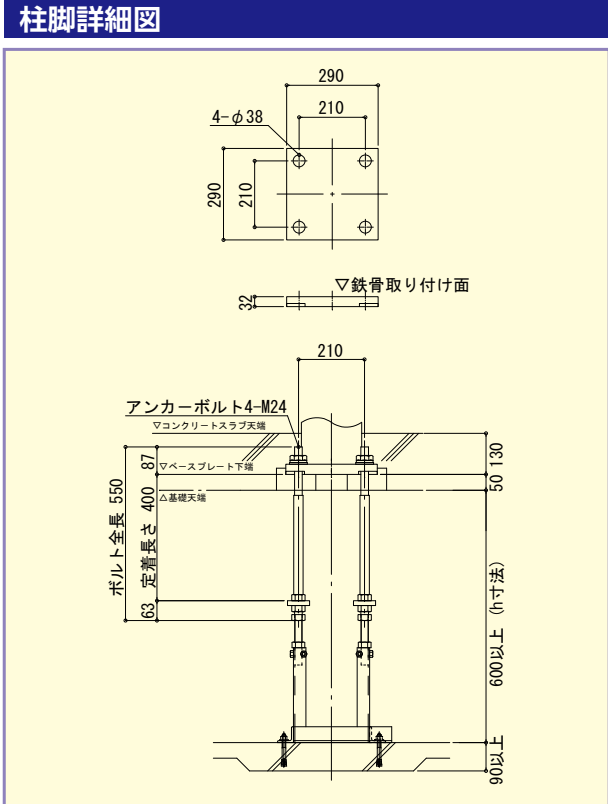


EM190-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ190.7(最大板厚:8.2mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ(4-M24)
回転ばね定数	13.8×10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	500	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	500	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210
〈中柱用〉	500	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	500	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	280~390	330~390	380~390	
D19	280~390	340~390		
D22	280~380	340~380		

柱形中心基礎はりタイプ

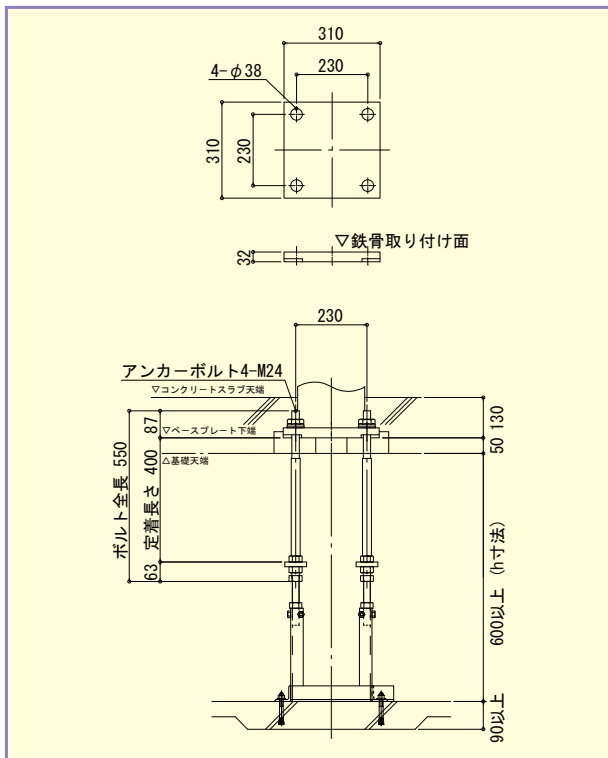
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~290	280~290		
D19	240~290			
D22	240~280			

注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

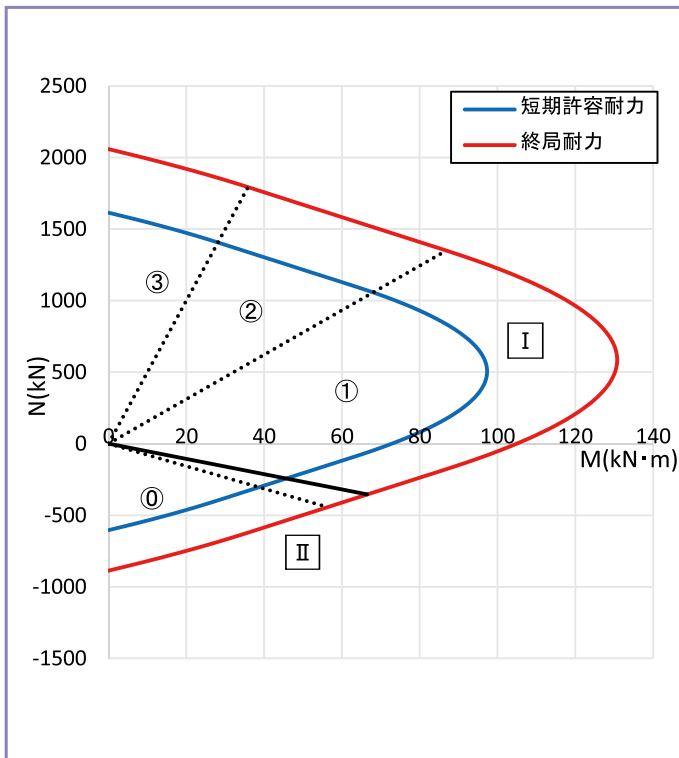
EM216-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ216.3(最大板厚:12.7mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ(4-M24)
回転ばね定数	19.9×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	520	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	520	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210
〈中柱用〉	520	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	520	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210

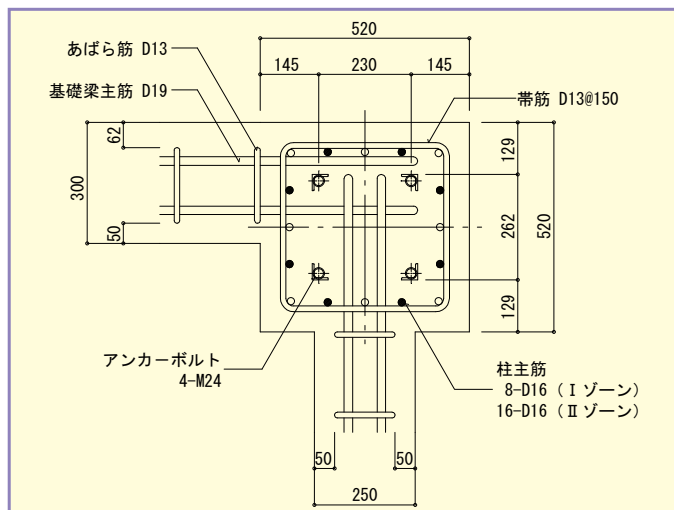
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	280~410	330~410	380~410	
D19	280~410	340~410	400~410	
D22	280~400	340~400	400	

柱形中心基礎はりタイプ

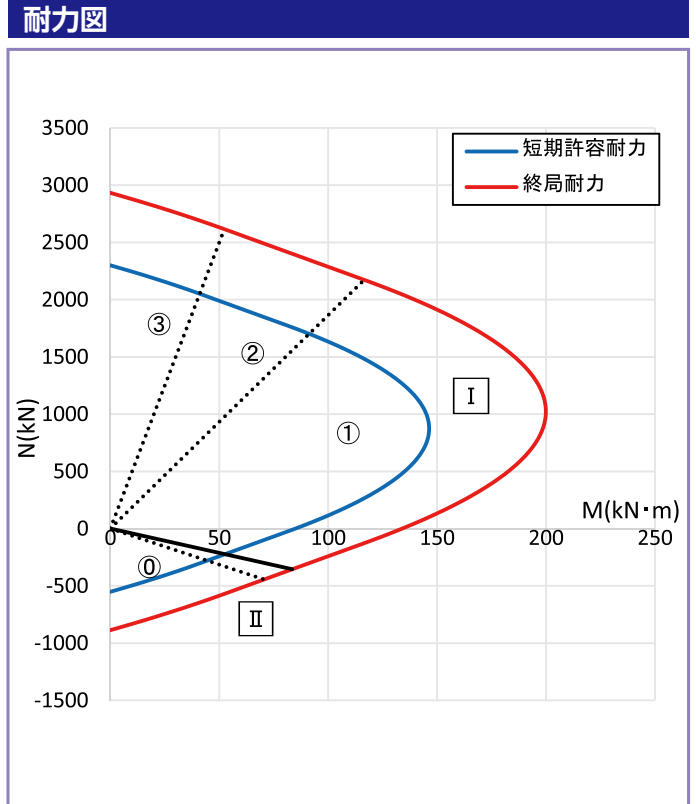
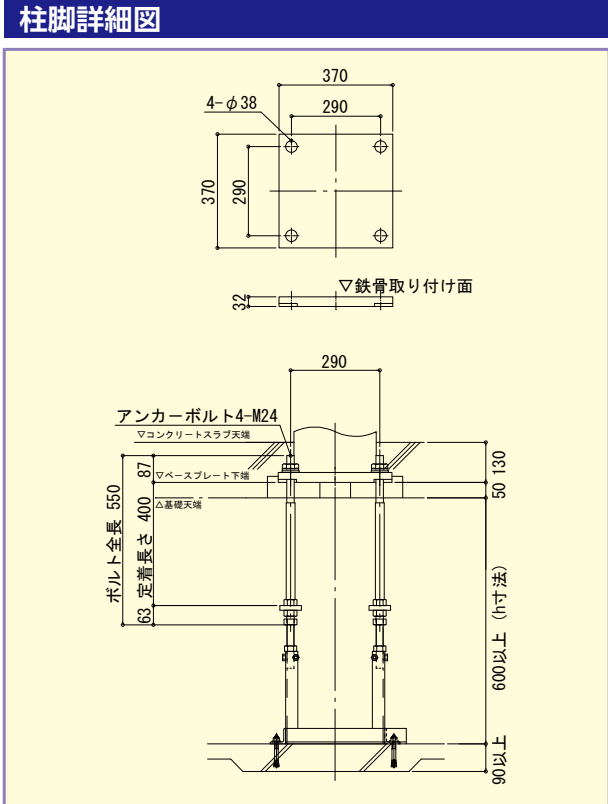
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~310	280~310		
D19	240~310	300~310		
D22	240~300	300		



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EM250-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ267.4(最大板厚:16mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ(4-M24)
回転ばね定数	28.4 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	570	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	570	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	200
〈中柱用〉	570	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	570	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	200

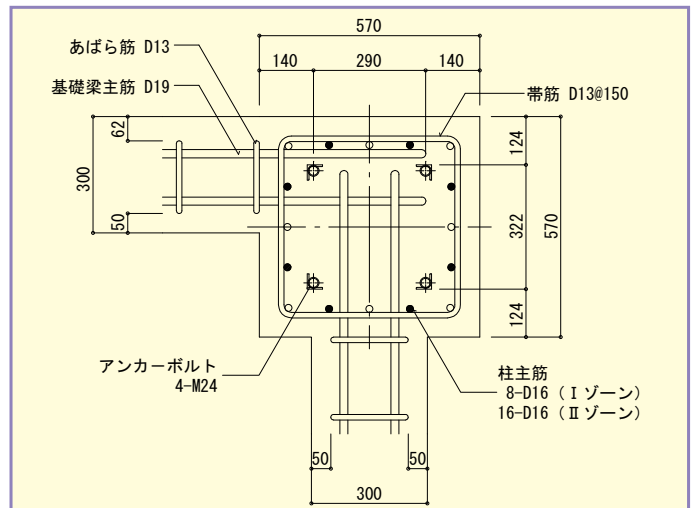
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~460	320~460	370~460	420~460
D19	270~460	330~460	390~460	450~460
D22	270~450	330~450	390~450	450

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~370	280~370	330~370	
D19	240~370	300~370	360~370	
D22	240~360	300~360	360	

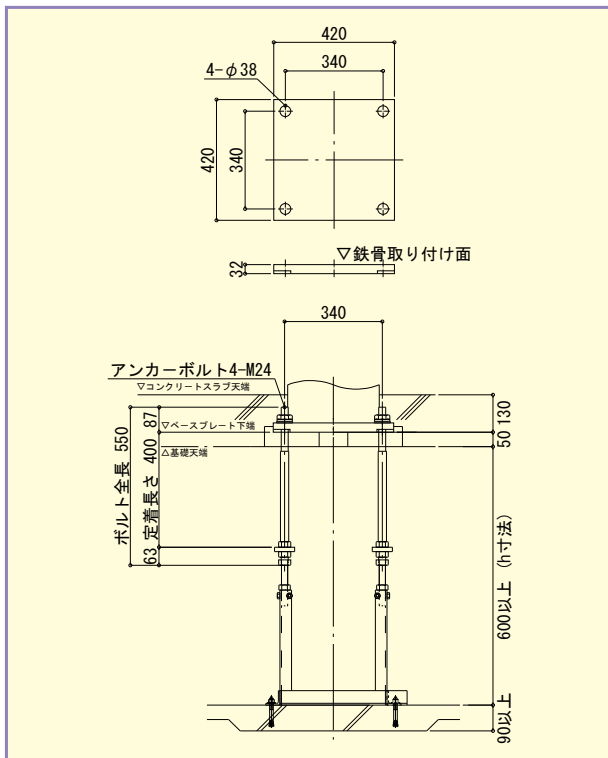


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

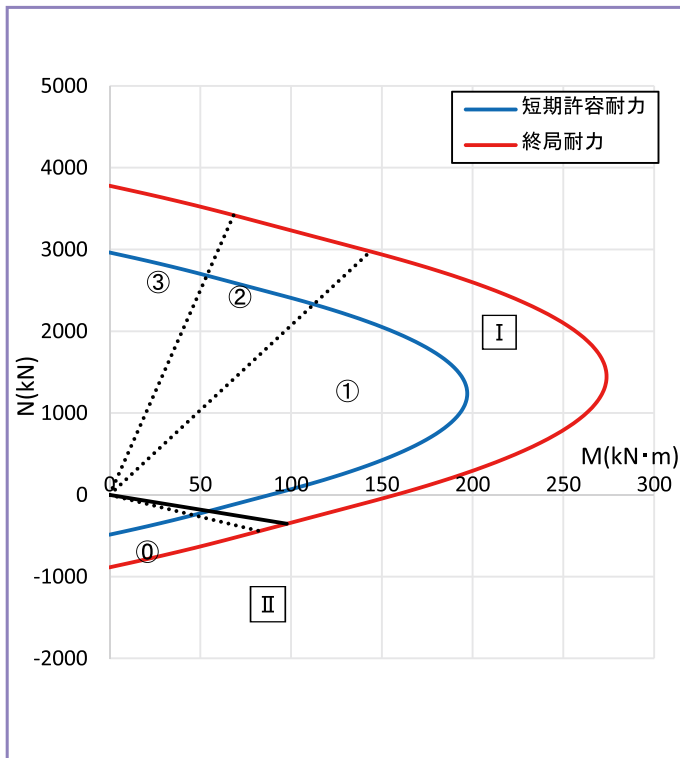
EM300-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ300, φ318.5 (最大板厚: 16mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M24)
回転ばね定数	38.3 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の 定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	620	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	620	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	200
〈中柱用〉	620	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	620	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	200

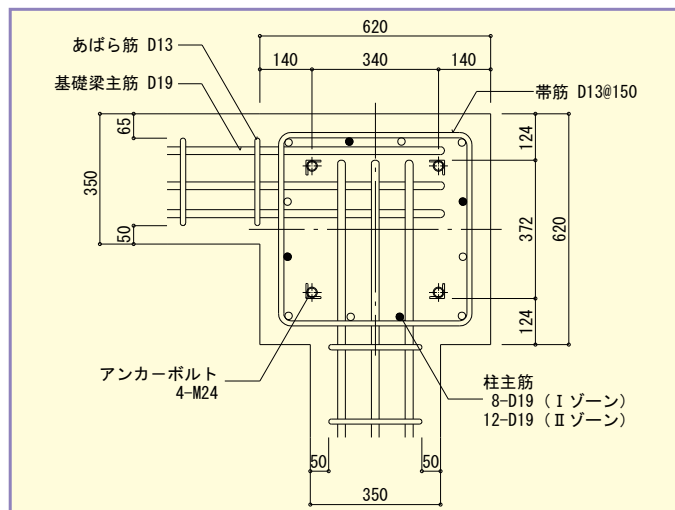
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~510	320~510	370~510	420~510
D19	270~510	330~510	390~510	450~510
D22	270~500	330~500	390~500	450~500

柱形中心基礎はりタイプ

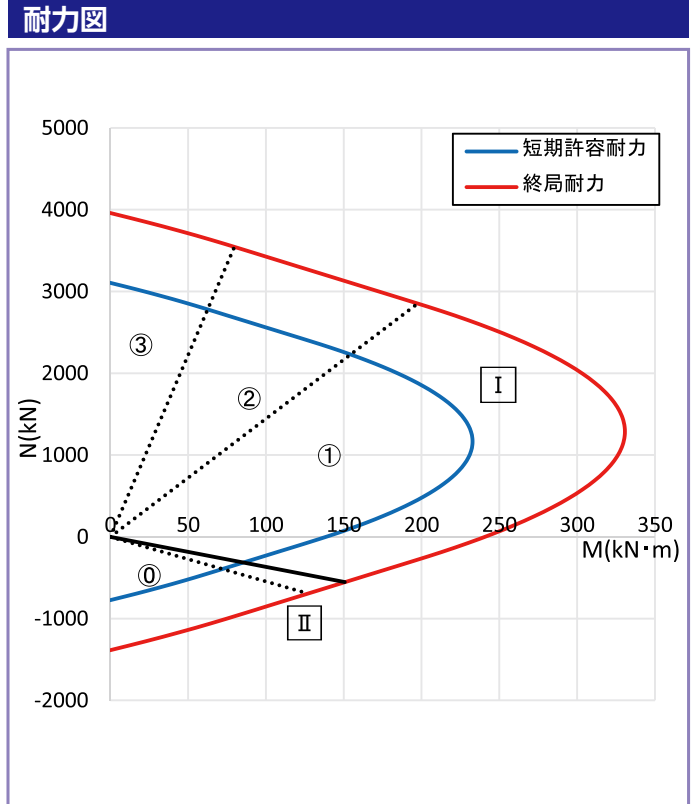
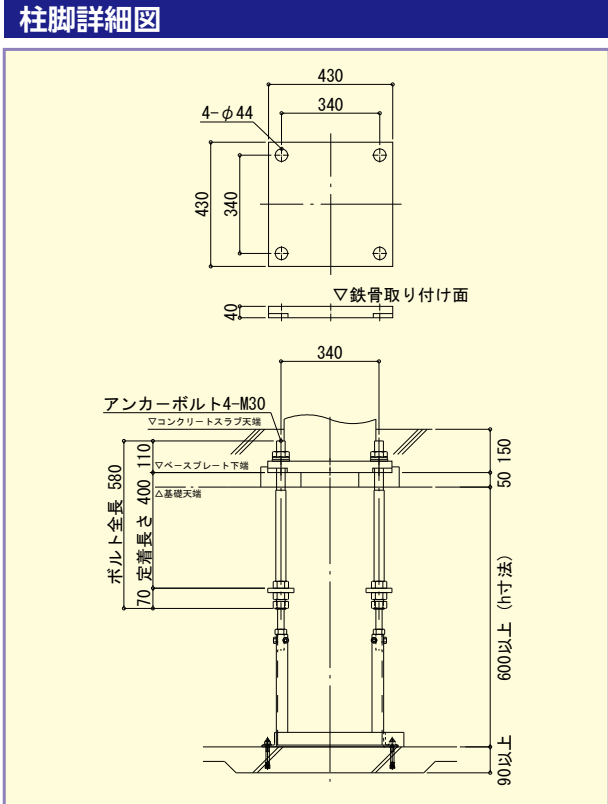
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~420	280~420	330~420	380~420
D19	240~420	300~420	360~420	
D22	240~410	300~410	360~410	



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EM300-4-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ300, φ318.5 (最大板厚: 16mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M30)
回転ばね定数	61.0 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	620	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	620	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	290
〈中柱用〉	620	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	620	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	290

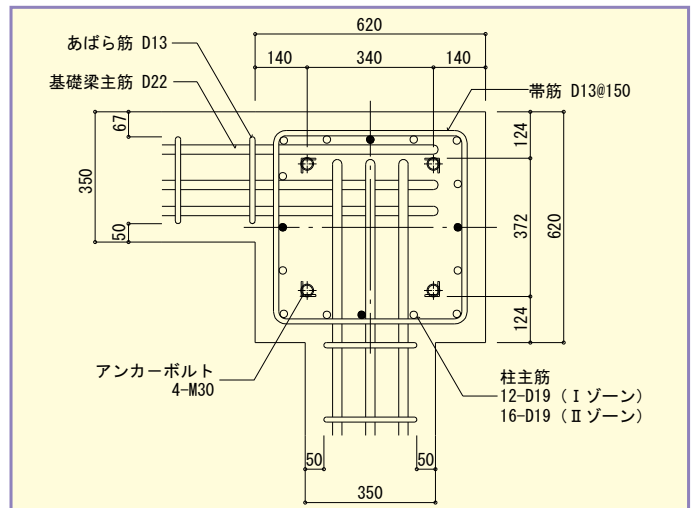
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~510	340~510	400~510	460~510
D22	280~510	340~510	400~510	460~510
D25	280~510	350~510	420~510	490~510

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~410	300~410	360~410	
D22	240~410	300~410	360~410	
D25	250~410	320~410	390~410	

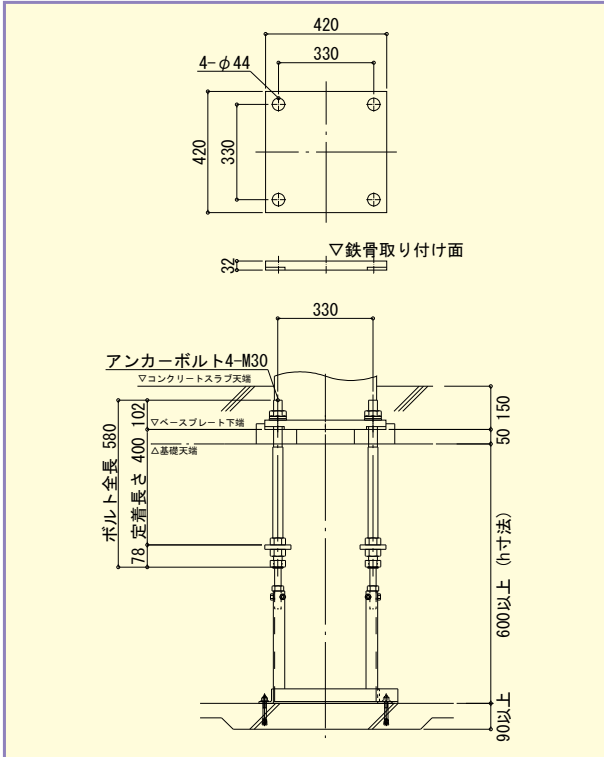


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

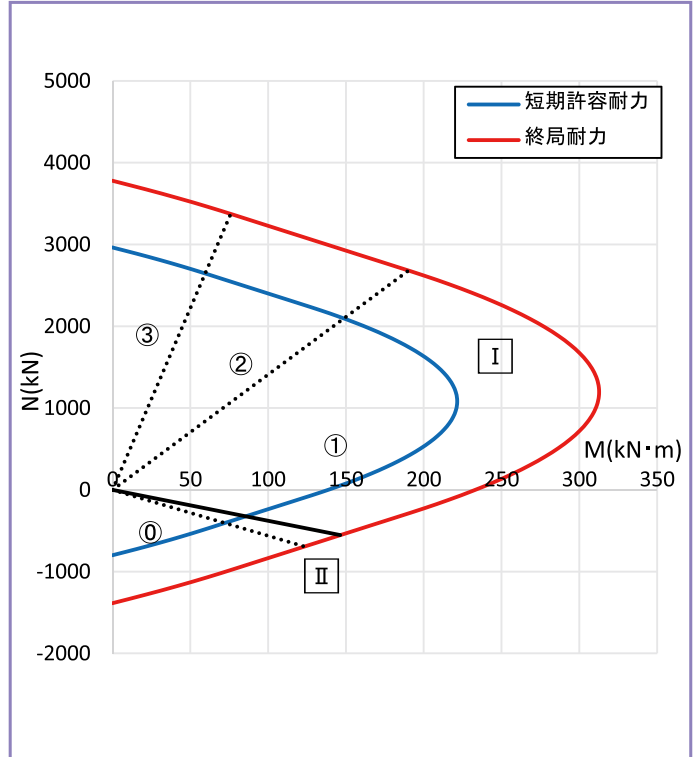
EM350-4-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ350, φ355.6 (最大板厚: 19mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M30)
回転ばね定数	65.1 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	620	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	620	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	290
〈中柱用〉	620	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	620	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	290

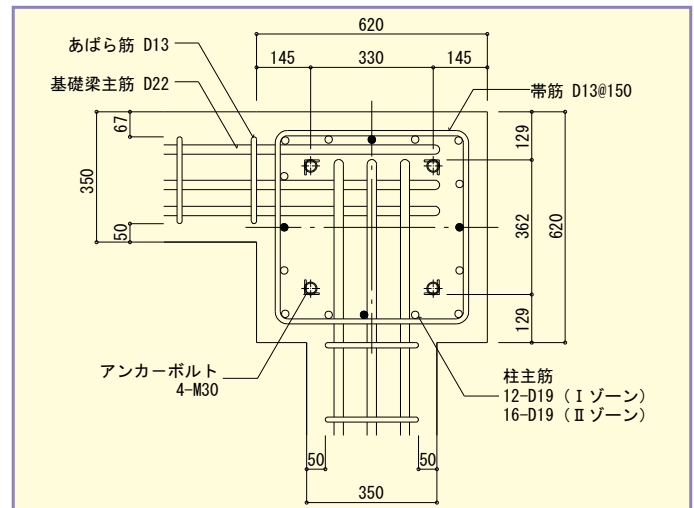
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~510	340~510	400~510	460~510
D22	280~510	340~510	400~510	460~510
D25	280~510	350~510	420~510	490~510

柱形中心基礎はりタイプ

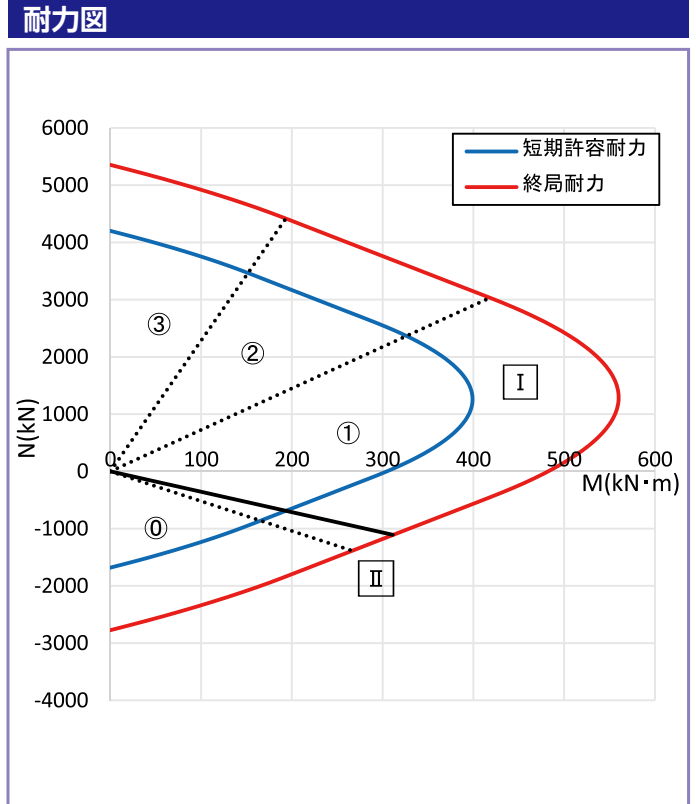
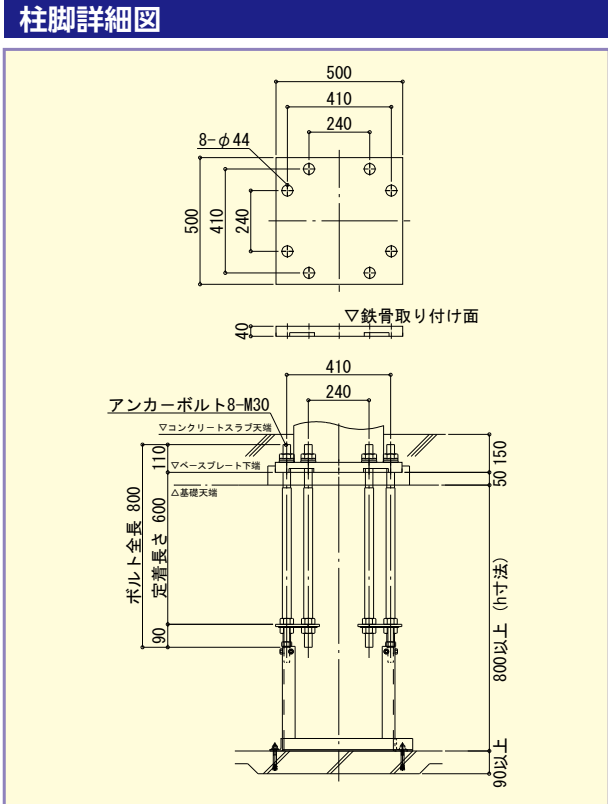
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~400	300~400	360~400	
D22	240~400	300~400	360~400	
D25	250~400	320~400	390~400	



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EM350-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ350, φ355.6 (最大板厚: 19mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	86.3 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	700	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	700	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	510
〈中柱用〉	700	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	700	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	510

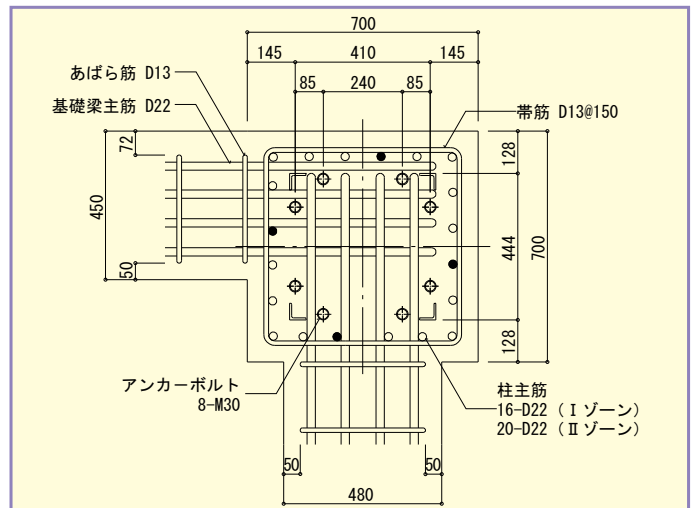
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~510	420~510	480~510	
D22	360~510	420~510	480~510	
D25	360~510	430~510	500~510	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~320	300~320	* 480	* 480
D22	240~320	300~320	* 480	* 480
D25	250~320	320	* 480	* 480

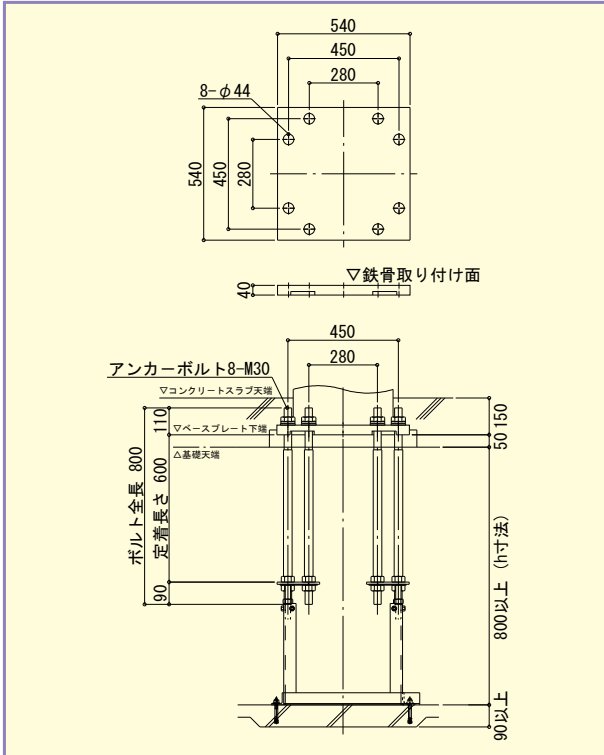


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

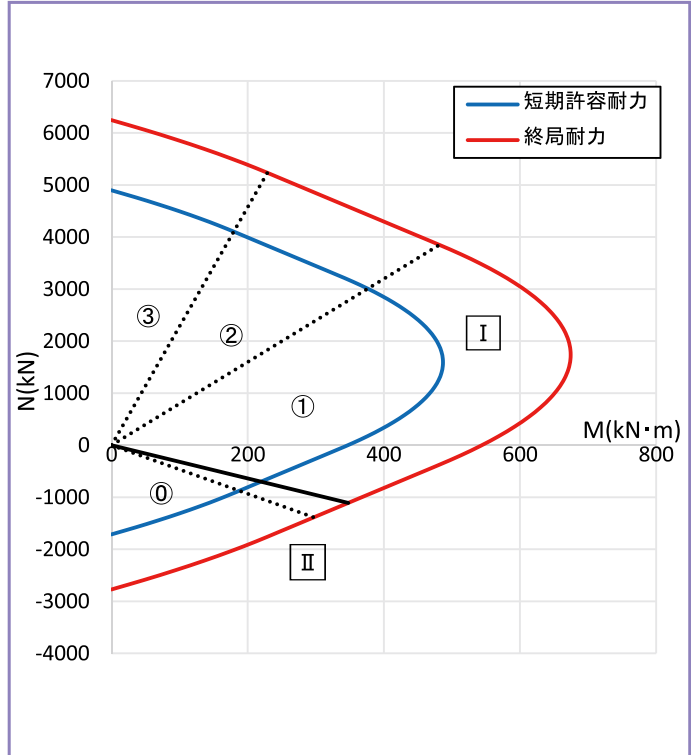
EM400-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ400, φ406.4 (最大板厚:22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	119×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	740	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	740	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	490
〈中柱用〉	740	12-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	740	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	490

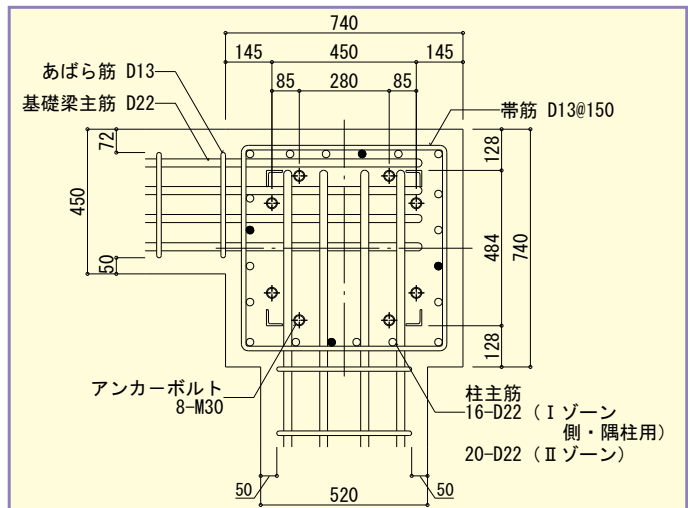
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~550	420~550	480~550	540~550
D22	360~550	420~550	480~550	540~550
D25	360~550	430~550	500~550	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~360	300~360	360	*520
D22	240~360	300~360	360	*520
D25	250~360	320~360	*520	*520



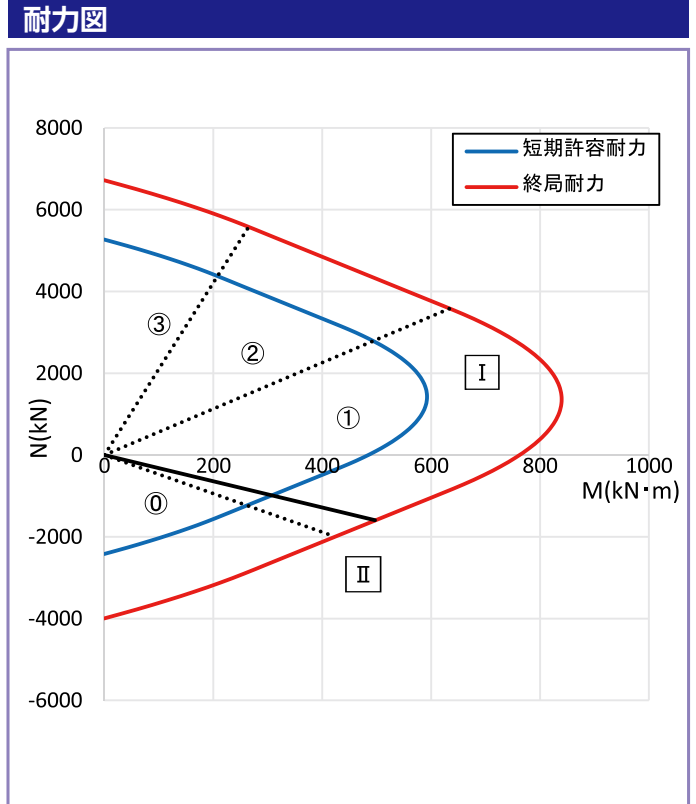
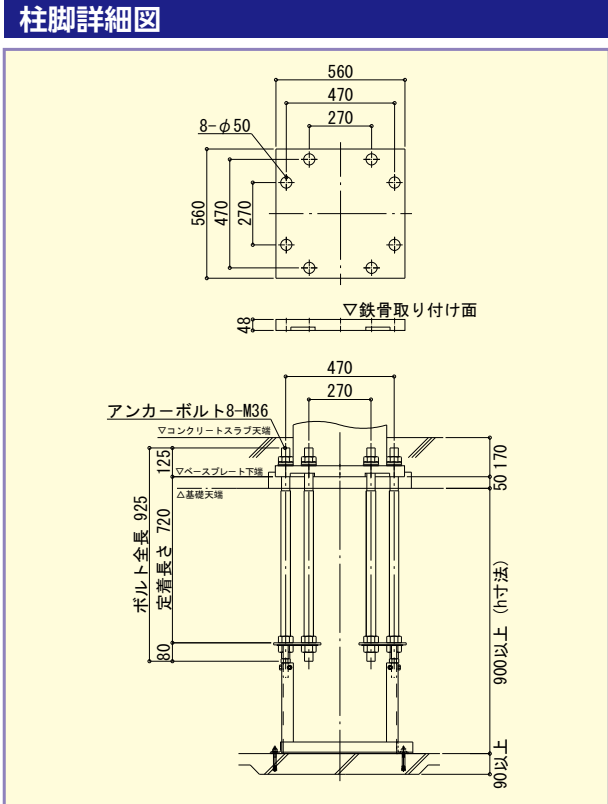
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EM400-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ400, φ406.4 (最大板厚: 22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	148 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	770	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	800	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570
〈中柱用〉	770	12-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	800	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~550	440~550	500~550	
D22	380~550	440~550	500~550	
D25	380~550	450~550	520~550	

柱形中心基礎はりタイプ

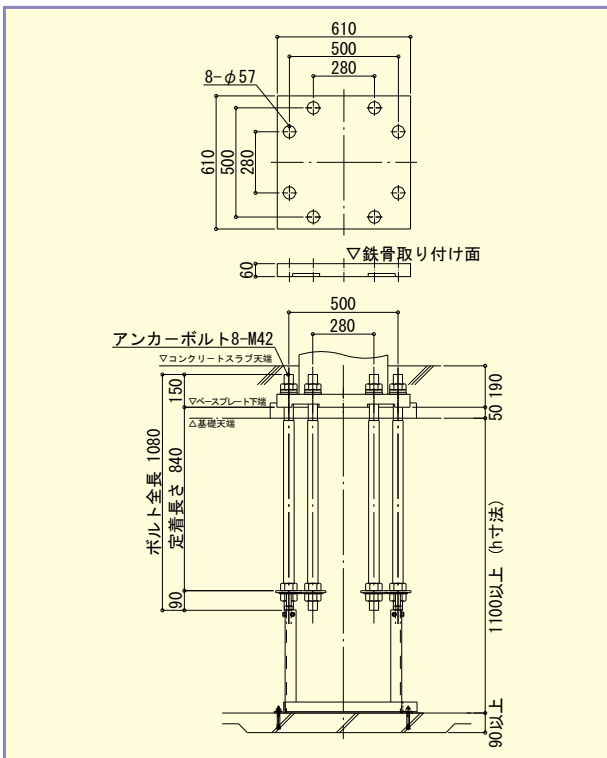
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~340	300~340	* 540	* 540
D22	240~340	300~340	* 540	* 540
D25	250~340	320~340	* 540	* 540

注 1) 上記納まり例は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合です。
 注 2) *がつけ基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

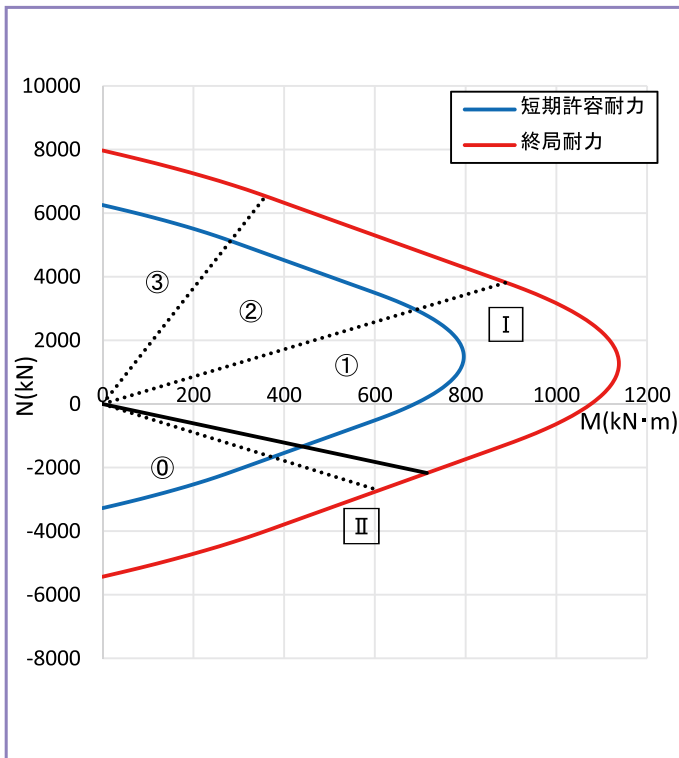
EM400-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ400, φ406.4 (最大板厚:22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	194 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	810	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730
〈中柱用〉	810	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730

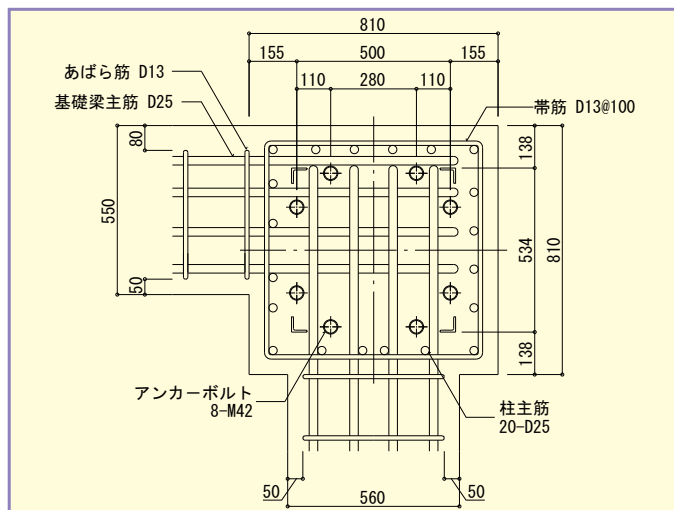
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~550	460~550	520~550	
D25	400~550	470~550	540~550	
D29	400~550	480~550		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~340	300~340	* 560	* 560
D25	250~340	320~340	* 560	* 560
D29	260~340	* 560	* 560	

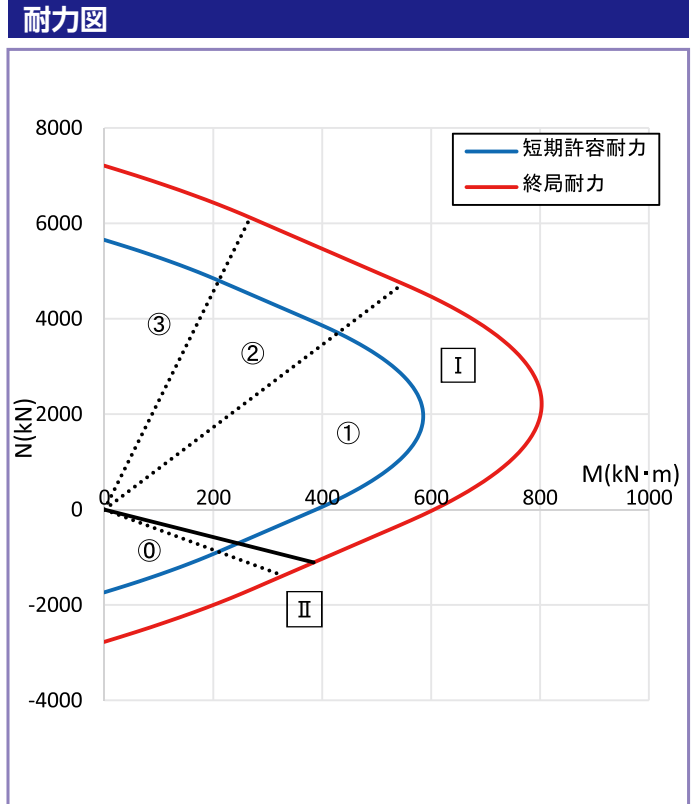
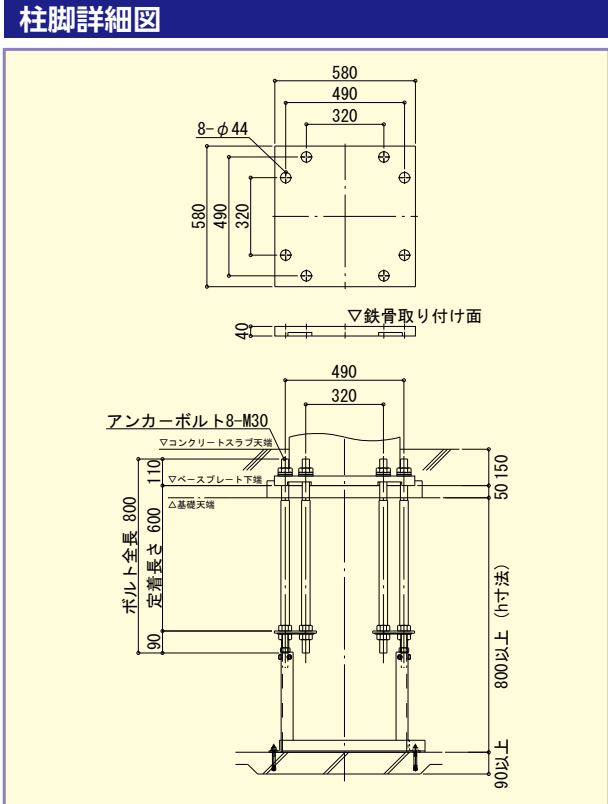


注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。

注 2) * がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EM450-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ450, φ457.2 (最大板厚: 22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	146 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	780	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	780	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	480
〈中柱用〉	780	12-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	780	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	480

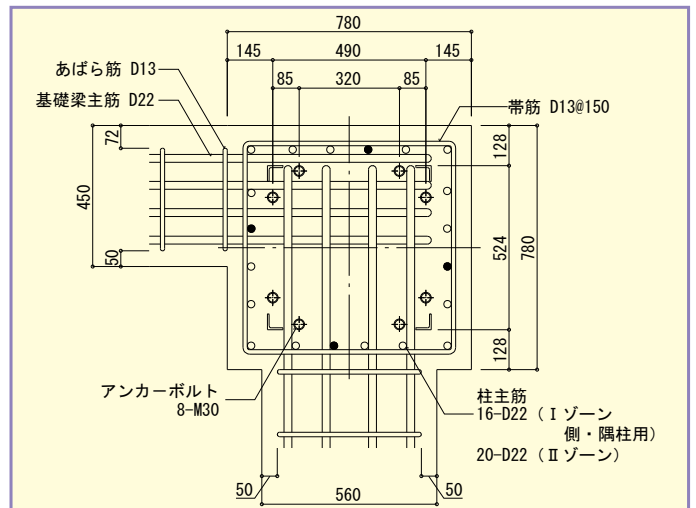
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~590	420~590	480~590	540~590
D22	360~590	420~590	480~590	540~590
D25	360~590	430~590	500~590	570~590

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~400	300~400	360~400	* 560
D22	240~400	300~400	360~400	* 560
D25	250~400	320~400	390~420	* 560

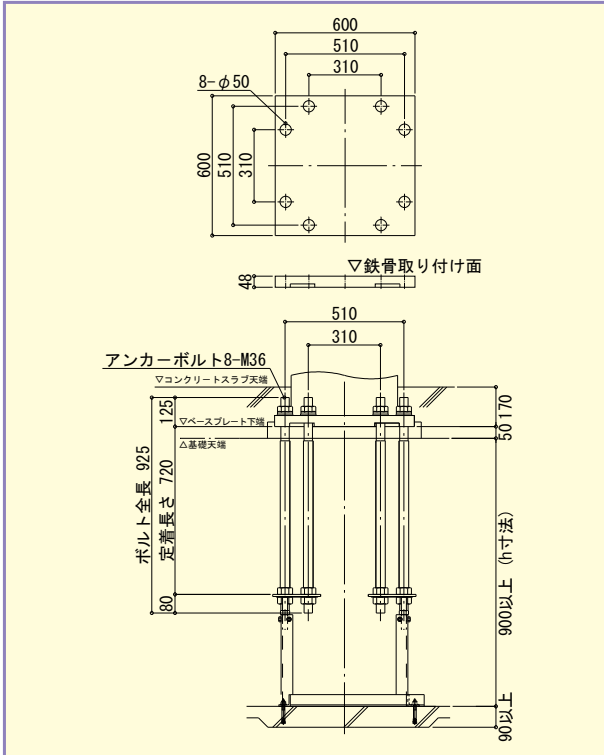


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

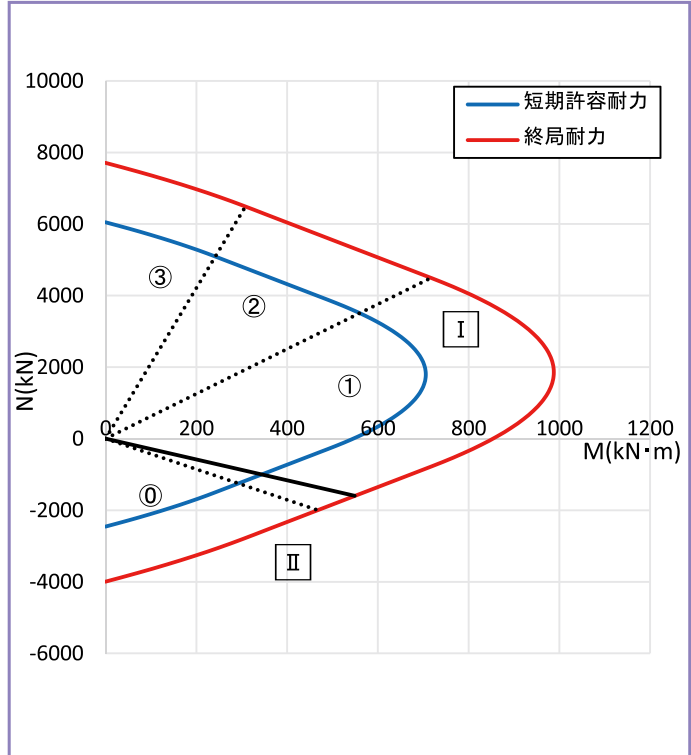
EM450-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ450, φ457.2 (最大板厚:22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	182 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	810	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	810	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570
〈中柱用〉	810	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	810	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570

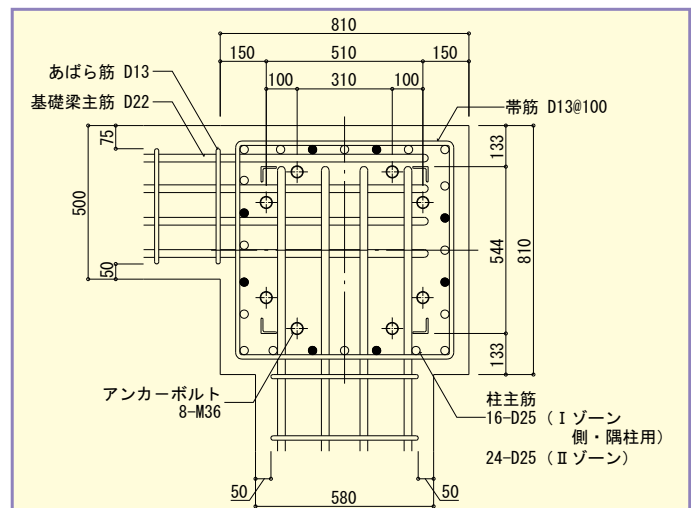
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~590	440~590	500~590	560~590
D22	380~590	440~590	500~590	560~590
D25	380~590	450~590	520~590	590

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~380	300~380	360~380	*580
D22	240~380	300~380	360~380	*580
D25	250~380	320~380	*580	*580



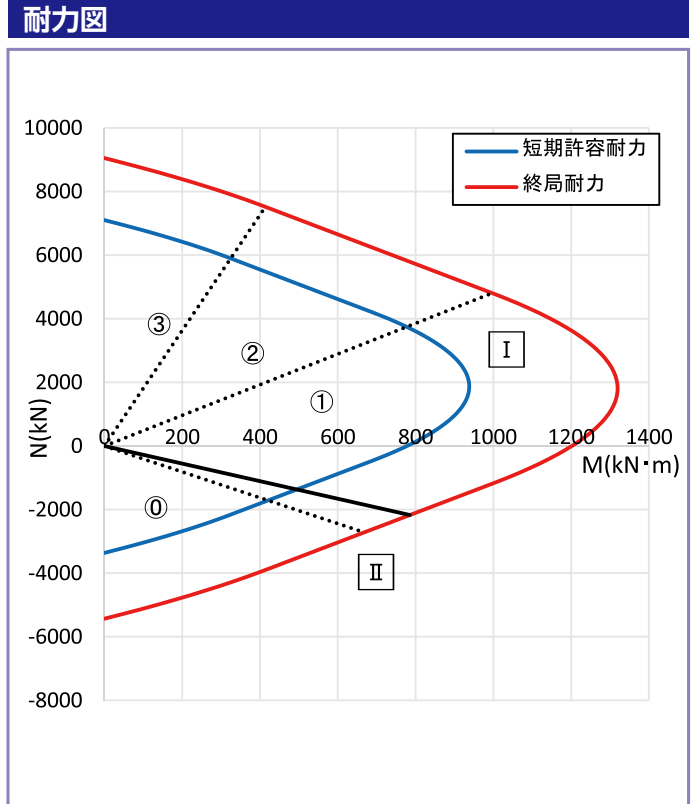
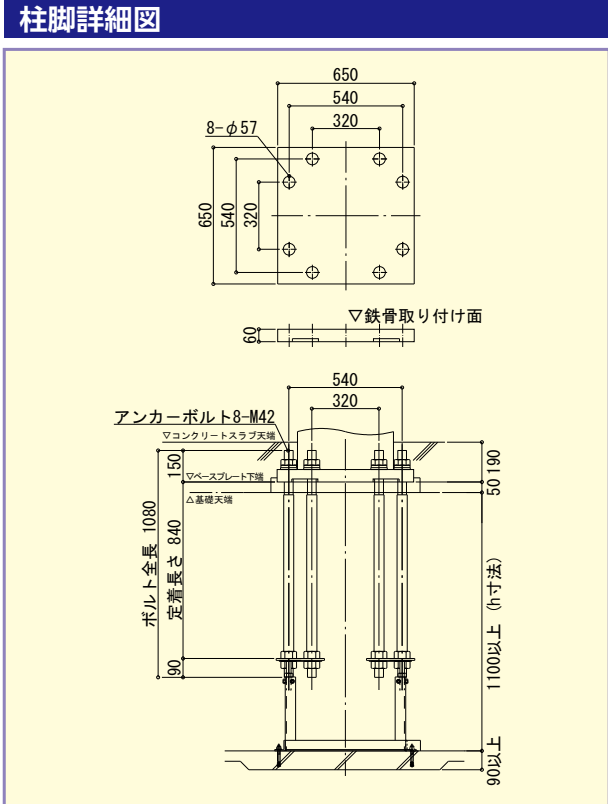
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EM450-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ450, φ457.2 (最大板厚: 22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	249 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	850	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730
〈中柱用〉	850	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~610	460~610	520~610	580~610
D25	400~610	470~610	540~610	
D29	400~610	480~610	560~610	

柱形中心基礎はりタイプ

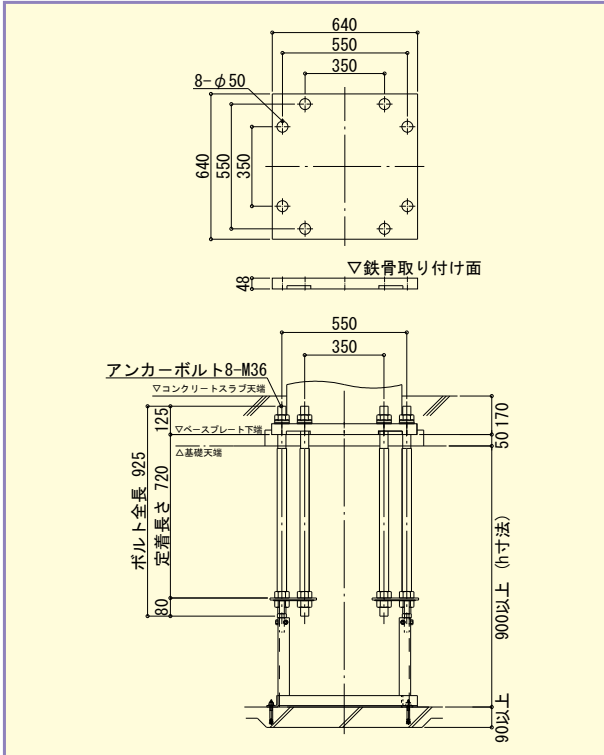
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~380	300~380	360~380	* 600
D25	250~380	320~380	* 600	* 600
D29	260~380	340~380	* 600	* 600

注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。
 設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
 注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

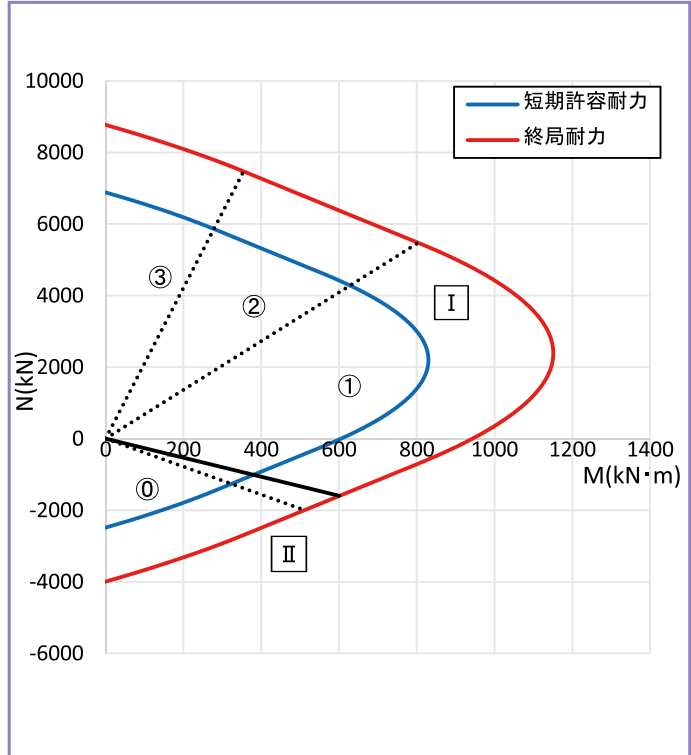
EM500-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ500, φ508 (最大板厚: 25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	231 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	850	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	550
〈中柱用〉	850	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	550

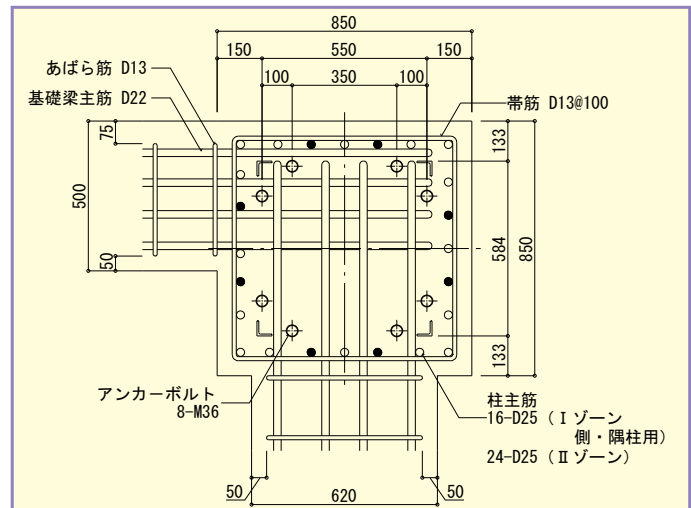
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~630	440~630	500~630	560~630
D22	380~630	440~630	500~630	560~630
D25	380~630	450~630	520~630	590~630

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~420	300~420	360~420	420~420
D22	240~420	300~420	360~420	420~420
D25	250~420	320~420	390~420	* 620



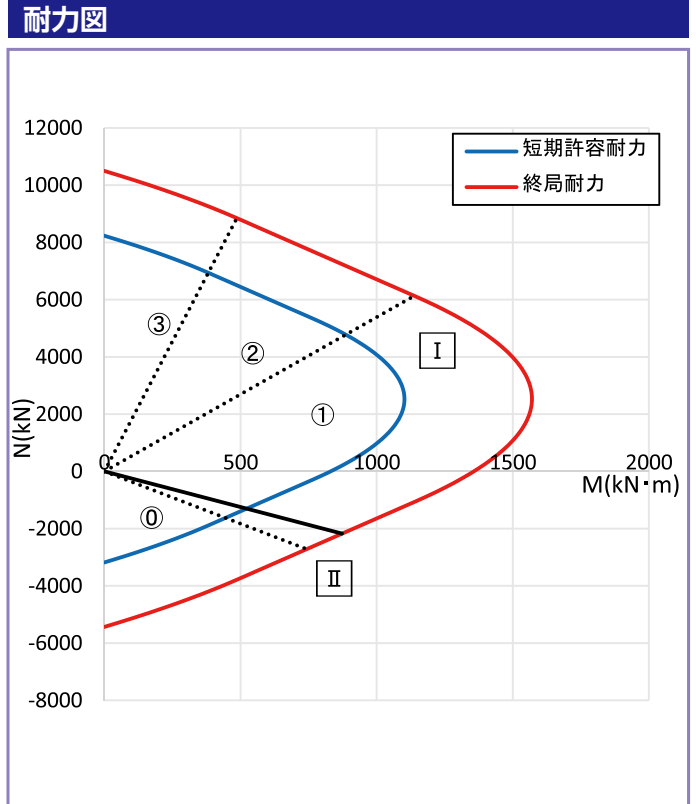
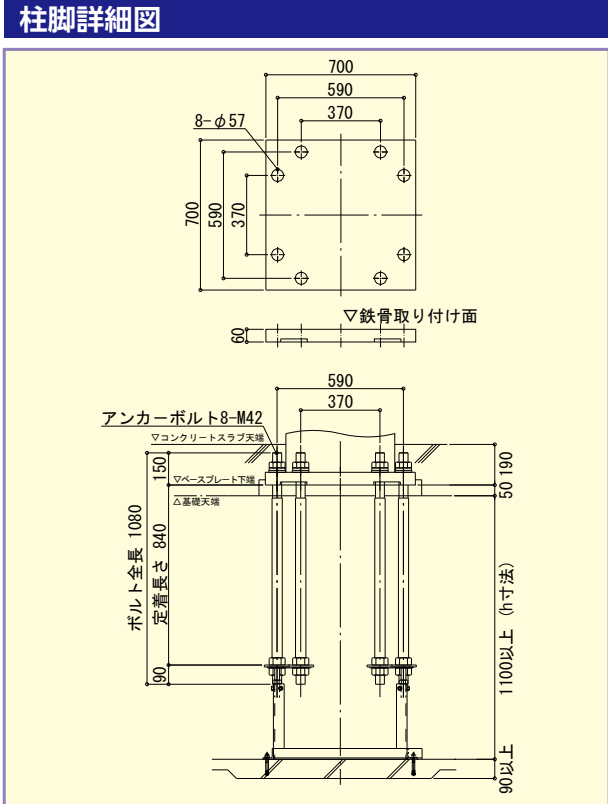
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの場合、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EM500-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ500, φ508 (最大板厚: 22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	301 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	900	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	900	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	710
〈中柱用〉	900	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	900	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	710

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~660	460~660	520~660	580~660
D25	400~660	470~660	540~660	610~660
D29	400~660	480~660	560~660	640~660

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~430	300~430	360~430	420~430
D25	250~430	320~430	390~430	* 650
D29	260~430	340~430	420~430	* 650

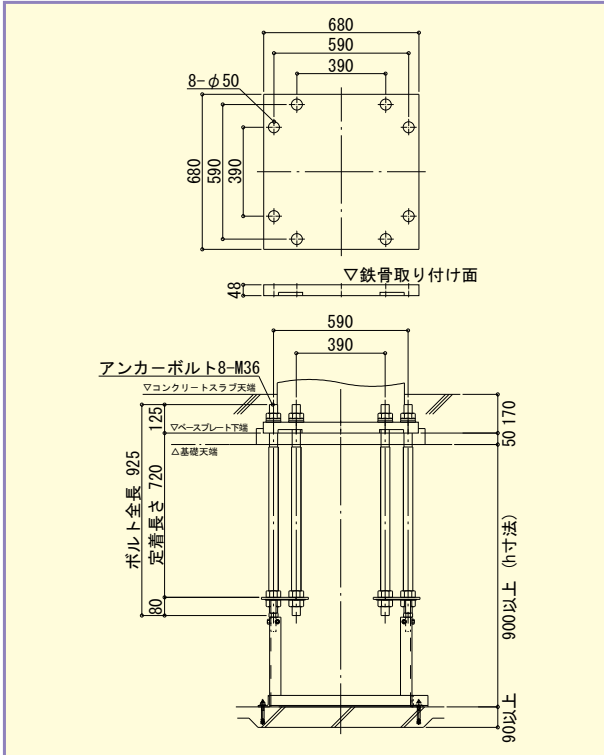
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

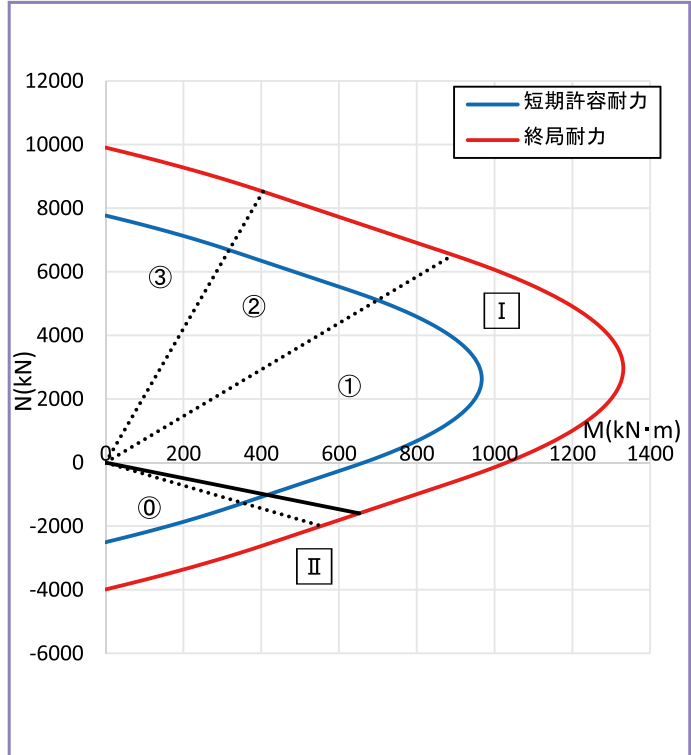
EM550-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ550, φ558.8 (最大板厚:25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	269 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	900	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	900	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	540
〈中柱用〉	900	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	900	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	540

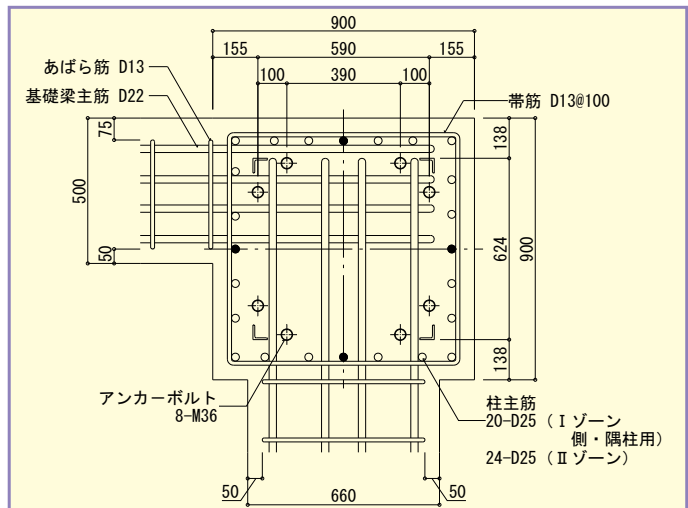
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	390~670	450~670	510~670	570~670
D22	390~670	450~670	510~670	570~670
D25	390~670	460~670	530~670	600~670

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~460	300~460	360~460	420~460
D22	240~460	300~460	360~460	420~460
D25	250~460	320~460	390~460	*660



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

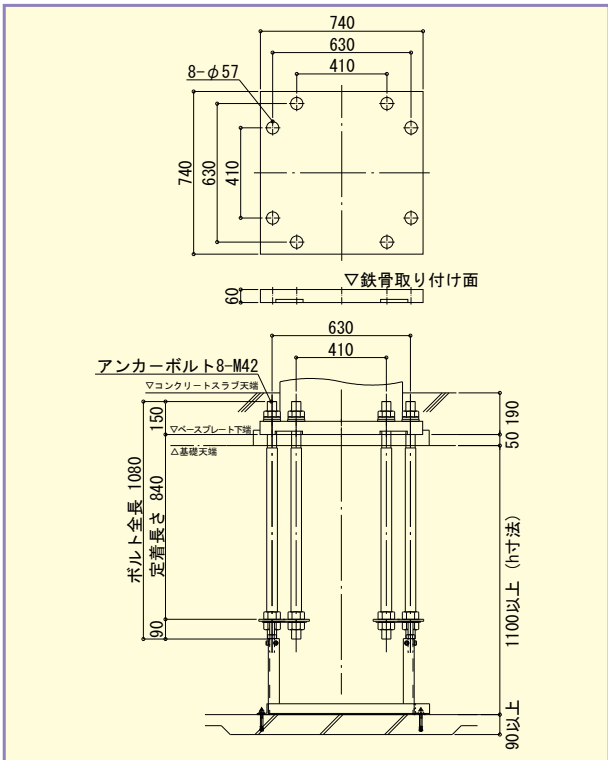
設計上、II ゾーンの場合、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

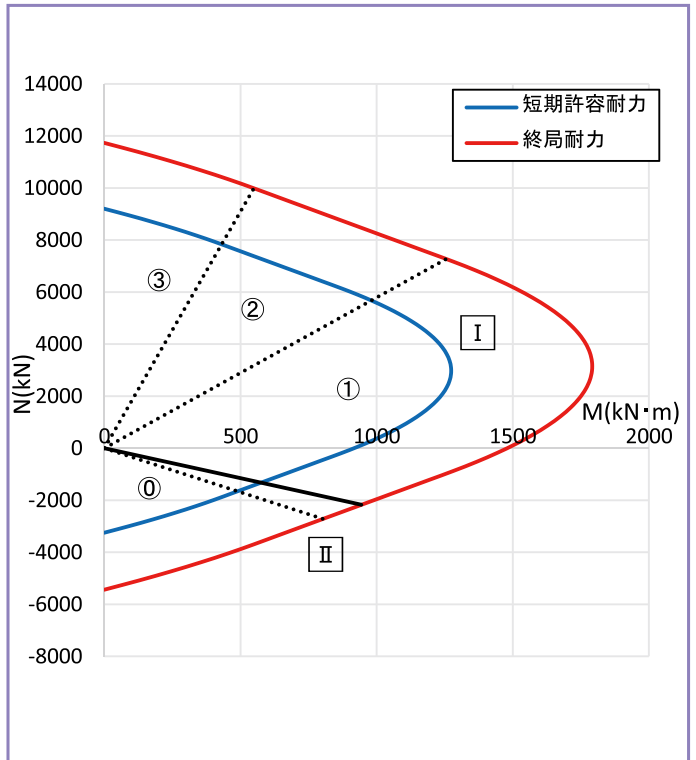
EM550-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ550, φ558.8 (最大板厚: 25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	350 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	700
〈中柱用〉	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	700

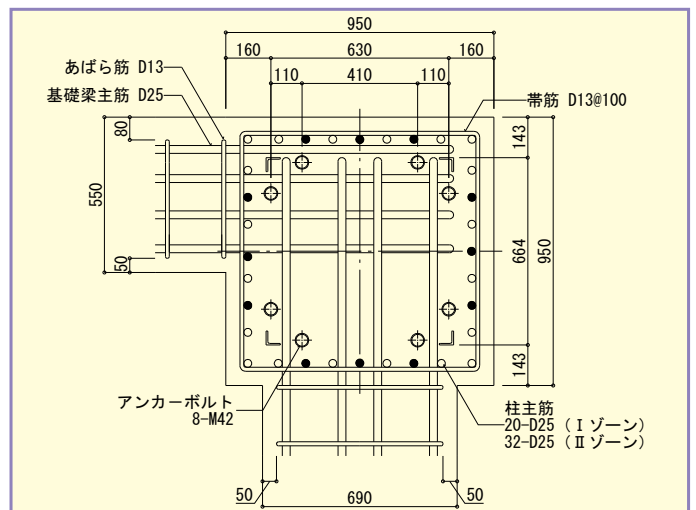
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	410~710	470~710	530~710	590~710
D25	410~710	480~710	550~710	620~710
D29	410~710	490~710	570~710	650~710

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~470	300~470	360~470	420~470
D25	250~470	320~470	390~470	460~470
D29	260~470	340~470	420~470	* 690



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EM